

災害時の避難



新型コロナウイルス感染のリスクがあっても、危険な場所にいる人は避難が原則です。避難所での感染リスクや人の集中を防ぐためにも、避難所以外への避難を検討することが大切です。

また、避難とは「難」を「避」けること、つまり安全を確保することです。

自宅周辺に危険がない場合や、自宅が頑丈で家屋倒壊などの心配がない場合は、自宅にとどまる方が安全な場合もあります。

～「複合災害」とコロナ禍での避難について～



出典：神戸市 阪神・淡路大震災「1. 17の記録」

これまでは、「複合災害」といえば、台風や集中豪雨に加えて、地震や津波など複数の自然災害が同時または時間差で発生する災害を指してきました。

ところが、コロナ禍で一つの自然災害が発生した場合でも、たくさんの人が避難所に避難することで感染リスクが高まってしまうなど、困った状況が起きることから、この場合も「複合災害」と呼ばれるようになりました。

このコロナ禍と自然災害による「複合災害」にどのように向き合い、対策などの備えをどうするべきか、今、一人ひとりが考えておくことが求められています。

被害を軽減するポイント

災害時の避難や避難所での生活について、日頃から考えておくことが大切！

家族構成や住んでいる地域によって、災害時の避難行動やタイミングは異なります。住民一人ひとりが、自宅付近の危険を知り、避難の必要性を考えておくことが大切です。

また、避難所での生活は、復興への道の第一歩となります。避難所生活を送る上での心得を知っておくことも重要です。

自主防災組織に期待される役割

- 地域のイベントや防災訓練、**広報誌**などを通じて、地域住民に災害時の避難の判断、避難所生活の心得について啓蒙しましょう！
- 地域内のどこに災害の危険があるか、助けを特に必要とする人(避難行動要支援者)はどこにいるか、普段から把握しておくことも大切です！

西宮市のホームページもご活用ください！

地域住民への防災啓発にご利用いただける、広報用チラシなどを市のホームページで公開しています。

そのままお使いいただくか、地域版にアレンジするなどご活用ください。
【データの提供等については 地域防災支援課Tel0798-35-3092 まで】



広報用チラシ集



にしのみや防災チャンネル

